

## ○津軽森林管理署の「労働災害防止協議会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年9月10日（火）に青森県黒石市の青荷沢国有林で開催された「令和6年度 労働災害防止協議会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天の中、林業関係団体や県、署管内の林業事業体など総勢38名の参加を得て開催され、今回の労働災害防止協議会では立木の伐倒・枝払の実演に加えて、伐倒した支障木の採材検討が行われました。津軽森林管理署長、弘前労働基準監督署長の挨拶後、署担当者より現地概要の説明があり、立木の伐倒・枝払の実演に移りました。まず、チェーンソーによる支障木伐倒・枝払が行われ、伐倒後、伐根を見ながら、受け口の深さ、つるの状況などの確認を行いました。続いて伐倒木（カラマツ）を前に、全員で採材の検討を行い、署担当者から採材方法について解説がありました。青森事務所からも東北森林管理局管内の需要動向、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進等について説明し、採材の検討を終了しました。

その後、弘前労働基準監督署より、労働災害の発生状況と労働安全法令等について講義いただくとともに、林業・木材製材業労働災害防止協会青森支部事務局より伐根の状況からみた伐倒方法の解説・講評および林業死亡災害の発生状況や安全な作業方法について講義をいただき、労働災害防止協議会を終了しました。日常的に行っている作業について、関係者が集まり考える場を持つことで、安全意識の高揚を図ることができました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（伐根の状況確認）



（カラマツの採材検討）